

**令和3年度**

**むつ市水道事業会計決算審査意見書**

**むつ市監査委員**



む 監 査 第 2 6 号  
令和4年8月16日

むつ市長 宮 下 宗 一 郎 様

むつ市監査委員 齊 藤 秀 人  
むつ市監査委員 佐々木 肇

令和3年度むつ市水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、令和3年度むつ市水道事業会計の決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## むつ市水道事業会計決算審査意見書

1	審査の対象	7
2	審査の期間	7
3	審査の方法	7
4	審査の結果	7
5	審査意見	8

## むつ市水道事業会計決算審査概要

1	予算執行状況	10
2	経営状況	13
3	建設改良費の概要	18
4	財政状態	19

資 料	21
-----	----

## 凡 例

1. 金額は、原則として円単位とし、円未満の端数は四捨五入した。
2. 比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した。
3. 構成比率は、合計が100.0となるよう一部調整した。
4. 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
「△」 …………… 負数  
「0.0」 …………… 該当数値があるが、表示単位未満のもの（零を含む。）  
「－」 …………… 該当数値のないもの、算出不能のもの



# 令和3年度むつ市水道事業会計決算審査意見書

## 1 審査の対象

令和3年度むつ市水道事業会計決算

## 2 審査の期間

令和4年7月8日から令和4年8月15日まで

## 3 審査の方法

審査に当たっては、「むつ市監査基準」に準拠し、水道事業の経営が経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努めているかに主眼をおき、提出された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類が、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して適切に処理されているか調査し、併せて、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかについて審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類は、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

## 5 審査意見

令和3年度水道事業会計決算は、収益的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、水道事業収益は1,761,115,515円、水道事業費用は1,619,871,032円となっている。

税抜き決算額では、水道事業収益は1,629,231,470円で、令和2年度と比較して54,255,975円(3.4%)の増加、水道事業費用は1,526,578,609円で、令和2年度と比較して2,390,224円(0.2%)の減少となっている。

この結果、純利益は102,652,861円で、令和2年度より56,646,199円(123.1%)の増加となっている。

経営の概況については、水道事業収益において、長期前受金戻入が10,996,007円(4.1%)減少となっているが、新型コロナウイルス感染症に係る経済支援として令和2年度に実施した基本料金2か月減免の影響により、給水収益は65,791,826円(5.3%)増加となっている。

水道事業費用では、人件費が4,178,608円(2.5%)、その他の営業費用が7,808,098円(29.2%)、企業債利息が15,903,974円(8.6%)減少しているが、物件費が4,439,094円(1.3%)、動力費が4,991,101円(9.8%)、減価償却費が13,953,409円(1.9%)増加となっている。

次に、業務の概況については、料金徴収の対象となった水量を示す年間有収水量が5,335,397m<sup>3</sup>で、令和2年度と比較して5,935m<sup>3</sup>(0.1%)の増加、年間給水量に対する年間有収水量の割合を示す有収率が78.3%で、令和2年度と比較して0.2ポイントの減少となっている。

資本的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、資本的収入は617,842,368円、資本的支出は1,346,588,055円となっている。資本的収入額が資本的支出額に不足する額728,745,687円は、令和3年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額37,620,199円、減債積立金46,006,662円及び過年度分損益勘定留保資金645,118,826円で補填している。

建設改良工事の概況については、脇野沢地区において、水道施設の耐震性の向上と旧簡易水道施設を上水道に統合する水道管路緊急改善事業及び水道施設整備事業、脇野沢ポンプ場、脇野沢配水場の場内舗装



および移動用管理道路の外構工事、むつ・川内地区の配水管の布設工事等、また、大畑町大赤川地区の災害復旧に係る工事を行い、安全安心な水を供給するため、計画的に新しい水道管へ取り替え、浄水場施設の設備更新工事、災害時の復旧対応等、施設や水質の維持管理に努めている。

今後においても、給水人口の減少等による給水収益の減収や水道設備の更新の費用が見込まれるところではあるが、漏水対策により有収率の向上を図り、効率的経営による収益の確保に努めるとともに、事故や災害に強い計画的な施設の整備・更新を行い、水質の保全を確保することにより、安全・強靱な水道サービスが安定的に提供されることを望む。

# 令和3年度むつ市水道事業会計決算審査概要

## 1 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 対 する 決 算 額 の 増 減 額	執 行 率	
水 道 事 業 収 益	1,766,327,000	1,761,115,515	△ 5,211,485	99.7	
内 訳	営 業 収 益	1,457,835,000	1,452,587,532	△ 5,247,468	99.6
	営 業 外 収 益	303,644,000	303,671,082	27,082	100.0
	特 別 利 益	4,848,000	4,856,901	8,901	100.2

#### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率	
水 道 事 業 費 用	1,647,088,000	1,619,871,032	27,216,968	98.3	
内 訳	営 業 費 用	1,411,215,900	1,386,333,650	24,882,250	98.2
	営 業 外 費 用	232,572,100	231,506,344	1,065,756	99.5
	特 別 損 失	3,300,000	2,031,038	1,268,962	61.5

収益的収入の決算額は 1,761,115,515 円で、予算額に対する執行率は 99.7%となっている。

このうち、営業収益は 1,452,587,532 円で執行率 99.6%、営業外収益は 303,671,082 円で執行率 100.0%、特別利益は 4,856,901 円で執行率 100.2%である。

収益的支出の決算額は 1,619,871,032 円で、予算額に対する執行率は 98.3%となっている。

このうち、営業費用は 1,386,333,650 円で執行率 98.2%、営業外費用は 231,506,344 円で執行率 99.5%、特別損失は 2,031,038 円で執行率 61.5%である。

## (2) 資本的収入及び支出

### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減額	執 行 率	
資 本 的 収 入	660,689,000	617,842,368	△ 42,846,632	93.5	
内 訳	企 業 債	262,600,000	241,500,000	△ 21,100,000	92.0
	一般会計負担金	176,372,000	175,415,000	△ 957,000	99.5
	国庫補助金	2,317,000	2,317,000	0	100.0
	工事負担金	24,300,000	24,308,618	8,618	100.0
	一般会計出資金	195,100,000	174,200,000	△ 20,900,000	89.3
	固定資産 売却代金	0	101,750	101,750	-

### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
資 本 的 支 出	1,433,382,154	1,346,588,055	68,133,339	18,660,760	93.9	
内 訳	建設改良費	637,004,154	550,210,277	68,133,339	18,660,538	86.4
	企業債償還金	796,378,000	796,377,778	0	222	100.0

資本的収入の決算額は 617,842,368 円で、予算額に対する執行率は 93.5%となっている。

このうち、企業債は 241,500,000 円で、その内訳は、水道管路緊急改善事業に係る分 137,800,000 円、水道施設整備事業に係る分 36,600,000 円、その他建設改良費に係る分 67,100,000 円である。

一般会計負担金 175,415,000 円は、消火栓新設工事費 4,972,000 円、統合水道等に要する経費としての企業債償還元金 170,443,000 円にそれぞれ充当している。

国庫補助金 2,317,000 円は、水道管路緊急改善事業に充当している。

一般会計出資金 174,200,000 円は、水道管路緊急改善事業 137,800,000 円、水道施設整備事業 36,400,000 円に充当している。

一方、資本的支出の決算額は 1,346,588,055 円で、予算額に対する執行率は 93.9%となっている。

このうち、建設改良費は 550,210,277 円で、その内訳は、水道管路緊急改善事業費 290,806,815 円、水道施設整備事業費 74,745,000 円、配水管整備事業費 58,531,000 円、その他の建設改良費 121,312,400 円のほか、営業設備費として 4,815,062 円を支出している。

企業債償還金は 796,377,778 円で、企業債の元金償還に支出したものである。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 728,745,687 円は、令和 3 年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 37,620,199 円、減債積立金 46,006,662 円及び過年度分損益勘定留保資金 645,118,826 円で補填している。

(注) 「(1)収益的収入及び支出」及び「(2)資本的収入及び支出」の決算額は、消費税込みの額である。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績

水道事業収益	1,629,231,470円
水道事業費用	1,526,578,609円
差引額	102,652,861円

令和3年度の経営成績は、102,652,861円の純利益を生じた決算となっている。  
これを、令和2年度と比較すると56,646,199円（123.1%）の増加となっている。  
経営成績の推移は、次表のとおりである。

（単位：円、%）

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
水 道 事 業 収 益	1,629,231,470	1,574,975,495	54,255,975	3.4
水 道 事 業 費 用	1,526,578,609	1,528,968,833	△ 2,390,224	△ 0.2
差 引 額	102,652,861	46,006,662	56,646,199	123.1

#### ア 水道事業収益

水道事業収益は1,629,231,470円で、令和2年度と比較して54,255,975円（3.4%）の増加となっている。

#### (ア) 営業収益

営業収益は1,320,734,840円で、令和2年度と比較して66,034,356円（5.3%）の増加である。

これは主に、給水収益が65,791,826円（5.3%）増加したことによるものである。

#### (イ) 営業外収益

営業外収益は303,640,479円で、令和2年度と比較して11,970,414円（3.8%）の減少である。

これは主に、長期前受金戻入が10,996,007円（4.1%）減少したことによるものである。

#### (ウ) 特別利益

特別利益は4,856,151円で、令和2年度と比較して192,033円（4.1%）の増加である。

これは、固定資産税売却益が130,912円（94.6%）減少したものの、その他特別利益が322,945円（7.1%）増加したことによるものである。

## イ 水道事業費用

水道事業費用は 1,526,578,609 円で、令和 2 年度と比較して 2,390,224 円 (0.2%) の減少となっている。

### (ア) 営業費用

営業費用は 1,346,855,946 円で、令和 2 年度と比較して 11,177,618 円 (0.8%) の増加となっている。

これは主に、人件費が職員の異動等により 4,178,608 円 (2.5%)、その他の営業費用が 7,808,098 円 (29.2%) 減少したものの、物件費が 4,439,094 円 (1.3%)、動力費が 4,991,101 円 (9.8%)、減価償却費が 13,953,409 円 (1.9%) 増加したことによるものである。

### (イ) 営業外費用

営業外費用は 177,873,449 円で、令和 2 年度と比較して 15,262,310 円 (7.9%) の減少となっている。

減少となったものは、企業債利息 15,903,874 円 (8.6%) である。

### (ウ) 特別損失

特別損失は 1,849,214 円で、令和 2 年度と比較して 1,694,468 円 (1,095.0%) の増加となっている。

これは、主に災害による損失が 1,681,129 円 (皆増) 増加したことによるものである。

## (2) 業務実績

### ア 給水の状況

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度	増 減	増 減 率
給水区域内人口 A (人)	54,223	55,198	△ 975	△ 1.8
給水人口 B (人)	51,137	51,296	△ 159	△ 0.3
給水戸数 (戸)	24,196	24,304	△ 108	△ 0.4
普及率 $B / A \times 100$ (%)	94.3	92.9	1.4	—
年間給水量 C (m <sup>3</sup> )	6,810,907	6,790,540	20,367	0.3
1人1日平均給水量 (L)	365	363	2	0.6
年間有収水量 D (m <sup>3</sup> )	5,335,397	5,329,462	5,935	0.1
有収率 $D / C \times 100$ (%)	78.3	78.5	△ 0.2	—

給水人口は 51,137 人、給水戸数は 24,196 戸で、令和 2 年度と比較して、給水人口が 159 人 (0.3%) 減少、給水戸数が 108 戸 (0.4%) 減少となっている。

給水区域内人口 54,223 人に対して、94.3% の普及率であり、令和 2 年度と比較して 1.4 ポイントの増加となっている。

年間給水量は 6,810,907 m<sup>3</sup> で、令和 2 年度と比較して 20,367 m<sup>3</sup> (0.3%) の増加となっている。

年間有収水量は 5,335,397 m<sup>3</sup> で、令和 2 年度と比較して 5,935 m<sup>3</sup> (0.1%) の増加となっている。

また、有収率 (年間給水量に対する年間有収水量の割合) は 78.3% で、令和 2 年度より 0.2 ポイントの減少となっている。

一方、給水人口 1 人 1 日当たり給水量は 365 L で、令和 2 年度と比較して 2 L (0.6%) の増加となっている。

## イ 施設の利用状況

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減	増 減 率
1 日 給 水 能 力 (A)	24,816	24,816	0	0.0
1 日 平 均 給 水 量 (B)	18,660	18,604	56	0.3
1 日 最 大 給 水 量 (C)	24,446	22,791	1,655	7.3
施 設 利 用 率 (B/A)	75.2	75.0	0.2	—
最 大 稼 働 率 (C/A)	98.5	91.8	6.7	—
負 荷 率 (B/C)	76.3	81.6	△ 5.3	—

1日給水能力は24,816 m<sup>3</sup>で、これに対して1日平均給水量は18,660 m<sup>3</sup>となっている。施設利用率は75.2%で、令和2年度と比較して0.2ポイントの増加となっている。

また、1日最大給水量は24,446 m<sup>3</sup>で、令和2年度と比較して1,655 m<sup>3</sup> (7.3%)の増加、最大稼働率は98.5%で、令和2年度と比較して6.7ポイントの増加となっている。



## ウ 料金及び原価等について

### 1戸当たり平均給水量及び平均水道料金

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減	増 減 率
1戸当たり平均給水量	220.5m <sup>3</sup>	219.3m <sup>3</sup>	1.2m <sup>3</sup>	0.5
1戸当たり平均水道料金	54,324円	51,376円	2,948円	5.7

#### 【算式】

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 給 水 量 } = \frac{\text{年 間 有 収 水 量}}{\text{給 水 戸 数}}$$

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 水 道 料 金 } = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{給 水 戸 数}}$$

### 供給単価及び給水原価の状況

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	増 減	増 減 率
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 供 給 単 価	246円36銭	234円29銭	12円07銭	5.2
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 給 水 原 価	237円50銭	236円47銭	1円03銭	0.4
差 引	8円86銭	△2円18銭	11円04銭	—

#### 【算式】

$$\text{供 給 単 価} = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

$$\text{給 水 原 価} = \frac{\text{経 常 費 用 (※) - ( 受 託 工 事 費 + 材 料 売 却 原 価 + 附 帯 工 事 費 )}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

(※算出に当たっては、経常費用のうち減価償却費から長期前受金戻入見合いの分を除く。)

1戸当たりの平均給水量は220.5 m<sup>3</sup>で、令和2年度と比較して1.2 m<sup>3</sup> (0.5%)の増加となっている。

平均水道料金は、54,324円で、令和2年度と比較して2,948円 (5.7%)の増加となっている。

また、1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価246円36銭に対し、1 m<sup>3</sup>当たりの給水原価は237円50銭となっており、その差額は8円86銭となっている。

### 3 建設改良費の概要

区 分	令和3年度		令和2年度	
	施 工 内 容	工 事 費 ( 円 )	施 工 内 容	工 事 費 ( 円 )
水道管路緊急改善事業	○ 工事費 ○ 事務費	290,806,815	○ 工事費 ○ 事務費	112,706,644
水道施設整備事業	○ 工事費 ○ 設計、調査費等	74,745,000	○ 工事費 ○ 設計、調査費等	515,086,000
配水管整備事業	○ 配水管布設工事費 ○ 消火栓設置工事費 ○ 設計、調査費等	58,531,000	○ 配水管布設工事費 ○ 消火栓設置工事費 ○ 設計、調査費等	57,022,700
その他建設改良費	○ 水源施設改良費 ○ その他建設改良費 ○ 設計、調査費等	121,312,400	○ 水源施設改良費 ○ その他建設改良費 ○ 設計、調査費等	131,417,000
営業設備費	○ 量水器費 ○ 機械器具購入費 ○ 車両購入費	4,815,062	○ 量水器費	523,605
建設改良費	計	550,210,277	計	816,755,949

(注) 消費税込みの額である。

建設改良費では、水道管路緊急改善事業費 290,806,815 円、水道施設整備事業費 74,745,000 円、配水管整備事業費 58,531,000 円、その他建設改良費 121,312,400 円及び営業設備費 4,815,062 円の事業を実施している。

建設改良費全体では 550,210,277 円で、令和2年度と比較して 266,545,672 円 (32.6%) の減少となっている。

増加となったものは、水道管路緊急改善事業費 178,100,171 円 (158.0%)、配水管整備事業費 1,508,300 円 (2.6%)、営業設備費 4,291,457 円 (819.6%) である。

一方、減少となったものは、水道施設整備事業費 440,341,000 円 (85.5%)、その他建設改良費 10,104,600 円 (7.7%) である。

## 4 財政状態

資産、負債及び資本の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
資 産	19,346,567,933	19,773,503,720	△ 426,935,787	△ 2.2
負 債	15,574,249,640	16,103,839,984	△ 529,590,344	△ 3.3
資 本	3,772,318,293	3,669,663,736	102,654,557	2.8

### (1) 資 産

資産の期末現在高は 19,346,567,933 円で、令和 2 年度と比較して 426,935,787 円 (2.2%) の減少となっている。

その内訳は、固定資産が 18,088,209,828 円 (資産に対する構成割合 93.5%)、流動資産が 1,258,358,105 円 (同割合 6.5%) である。

#### ア 固定資産

固定資産は、令和 2 年度と比較して 263,977,772 円 (1.4%) の減少となっている。

これは、建物 462,834,247 円が増加したものの、主に構築物 241,714,367 円、機械及び装置 1,461,751 円、工具・器具・備品 25,096,060 円、建設仮勘定 457,821,238 円が減少したことによるものである。

#### イ 流動資産

流動資産は、令和 2 年度と比較して 162,958,015 円 (11.5%) の減少となっている。

これは、貯蔵品 1,302,495 円が増加したものの、現金・預金 151,150,805 円、未収金 12,237,854 円、貸倒引当金 871,851 円が減少したもののしたことによるものである。

### (2) 負 債

負債の期末現在高は 15,574,249,640 円で、令和 2 年度と比較して 529,590,344 円 (3.3%) の減少となっている。

その内訳は、固定負債 10,815,260,265 円 (負債資本に対する構成割合 55.9%)、流動負債 1,007,233,865 円 (同割合 5.2%) 及び繰延収益 3,751,755,510 円 (同割合 19.4%) である。

## ア 固定負債

固定負債は、全額、企業債であり、令和2年度と比較して631,389,287円(5.5%)の減少となっている。

## イ 流動負債

流動負債は、令和2年度と比較して18,504,795円(1.8%)の減少となっている。

これは主に、企業債が76,511,509円(9.6%)増加したものの、未払金131,362,543円(64.6%)、引当金186,307円(1.5%)が減少したことによるものである。

## ウ 繰延収益

繰延収益は、令和2年度と比較して120,303,738円(3.3%)の増加となっている。

## (3) 資 本

資本の期末現在高は3,772,318,293円で、令和2年度と比較して102,654,557円(2.8%)の増加となっている。

その内訳は、資本金が2,950,302,080円(負債資本に対する構成割合15.2%)及び剰余金が822,016,213円(同割合4.3%)である。

## ア 資本金

資本金は、令和2年度と比較して131,543,663円(4.7%)の増加となっている。これは、組入資本金が増加したことによるものである。

## イ 剰余金

剰余金は、令和2年度と比較して28,889,106円(3.4%)の減少となっている。これは、利益剰余金が減少したことによるものである。

# 資料目次

資料 1	收益的収支比較表 .....	22
資料 2	貸借対照表比較表 .....	23

# 資料 1

## 水道事業会計収益的収支比較表 [ 税 抜 ]

(単位：円、%)

科 目		令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
収 入	1 営 業 収 益 a	1,320,734,840	81.1	1,254,700,484	79.7	66,034,356	5.3
	給 水 収 益	1,314,422,591	80.7	1,248,630,765	79.3	65,791,826	5.3
	受 託 工 事 収 益	0	0.0	0	0.0	0	—
	そ の 他 営 業 収 益	6,312,249	0.4	6,069,719	0.4	242,530	4.0
	2 営 業 外 収 益	303,640,479	18.6	315,610,893	20.0	△ 11,970,414	△ 3.8
	受 取 利 息	28,923	0.0	88,924	0.0	△ 60,001	△ 67.5
	補 助 金	0	0.0	0	0.0	0	—
	負 担 金	45,708,737	2.8	46,764,000	3.0	△ 1,055,263	△ 2.3
	長 期 前 受 金 戻 入	257,586,533	15.8	268,582,540	17.0	△ 10,996,007	△ 4.1
	雑 収 益	316,286	0.0	175,429	0.0	140,857	80.3
	3 特 別 利 益	4,856,151	0.3	4,664,118	0.3	192,033	4.1
	固 定 資 産 売 却 益	7,500	0.0	138,412	0.0	△ 130,912	△ 94.6
	そ の 他 特 別 利 益	4,848,651	0.3	4,525,706	0.3	322,945	7.1
収 入 計 (A)	1,629,231,470	100.0	1,574,975,495	100.0	54,255,975	3.4	
支 出	1 営 業 費 用	1,346,855,946	88.2	1,335,678,328	87.4	11,177,618	0.8
	人 件 費	162,888,291	10.7	167,066,899	10.9	△ 4,178,608	△ 2.5
	物 件 費	339,442,410	22.2	335,003,316	21.9	4,439,094	1.3
	動 力 費	55,810,241	3.7	50,819,140	3.3	4,991,101	9.8
	薬 品 費	6,733,520	0.4	6,952,800	0.5	△ 219,280	△ 3.2
	減 価 償 却 費	763,041,864	50.0	749,088,455	49.0	13,953,409	1.9
	そ の 他 の 営 業 費 用	18,939,620	1.2	26,747,718	1.8	△ 7,808,098	△ 29.2
	2 営 業 外 費 用	177,873,449	11.7	193,135,759	12.6	△ 15,262,310	△ 7.9
	企 業 債 利 息	168,769,301	11.1	184,673,275	12.1	△ 15,903,974	△ 8.6
	一 時 借 入 金 利 息	0	0.0	0	0.0	0	—
	そ の 他	9,104,148	0.6	8,462,484	0.5	641,664	7.6
	3 特 別 損 失	1,849,214	0.1	154,746	0.0	1,694,468	1,095.0
	固 定 資 産 売 却 損	0	0.0	132,746	0.0	△ 132,746	皆減
災 害 に よ る 損 失	1,681,129	0.1	0	0.0	1,681,129	皆増	
過 年 度 損 益 修 正 損	168,085	0.0	22,000	0.0	146,085	664.0	
そ の 他 特 別 損 失	0	0.0	0	0.0	0	—	
支 出 計 (B)	1,526,578,609	100.0	1,528,968,833	100.0	△ 2,390,224	△ 0.2	
収 支 差 引 (A)－(B)	102,652,861		46,006,662		56,646,199	123.1	
累 積 欠 損 金 b	0		0		/		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,258,358,105		1,421,316,120			
	う ち 未 収 金	135,236,590		147,474,444			
	流 動 負 債 (イ)	1,007,233,865		1,025,738,660			
	う ち 一 時 借 入 金	0		0			
	う ち 未 払 金	109,095,023		204,173,566			
	差 引 (イ)－(ア) (C)	0		0			
累 積 欠 損 金 比 率 b/a×100	0.0		0.0				
不 良 債 務 比 率 (C)/a×100	—		—				

## 資料2

### 水道事業会計貸借対照表比較表

(単位：円、%)

科 目	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
固 定 資 産	18,088,209,828	93.5	18,352,187,600	92.8	△ 263,977,772	△ 1.4
有 形 固 定 資 産	18,086,510,974	93.5	18,350,488,746	92.8	△ 263,977,772	△ 1.4
無 形 固 定 資 産	1,698,854	0.0	1,698,854	0.0	0	0.0
流 動 資 産	1,258,358,105	6.5	1,421,316,120	7.2	△ 162,958,015	△ 11.5
現 金 預 金	1,099,333,922	5.7	1,250,484,727	6.3	△ 151,150,805	△ 12.1
未 収 金	135,236,590	0.7	147,474,444	0.8	△ 12,237,854	△ 8.3
貸 倒 引 当 金	△ 1,121,077	0.0	△ 249,226	0.0	△ 871,851	△ 349.8
貯 蔵 品	24,908,670	0.1	23,606,175	0.1	1,302,495	5.5
前 払 金	0	0.0	0	0.0	0	—
資 産 合 計	19,346,567,933	100.0	19,773,503,720	100.0	△ 426,935,787	△ 2.2
固 定 負 債	10,815,260,265	55.9	11,446,649,552	57.9	△ 631,389,287	△ 5.5
企 業 債	10,815,260,265	55.9	11,446,649,552	57.9	△ 631,389,287	△ 5.5
流 動 負 債	1,007,233,865	5.2	1,025,738,660	5.2	△ 18,504,795	△ 1.8
企 業 債	872,889,287	4.5	796,377,778	4.0	76,511,509	9.6
リ ー ス 債 務	0	0.0	0	0.0	0	—
未 払 金	71,936,723	0.4	203,299,266	1.0	△ 131,362,543	△ 64.6
未 払 い 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	37,158,300	0.2	874,300	0.0	36,284,000	4,150.1
前 受 金	0	0.0	0	0.0	0	—
引 当 金	12,627,848	0.1	12,814,155	0.1	△ 186,307	△ 1.5
預 り 金	12,621,707	0.0	12,373,161	0.1	248,546	2.0
繰 延 収 益	3,751,755,510	19.4	3,631,451,772	18.3	120,303,738	3.3
長 期 前 受 金	8,652,451,577	44.7	8,271,060,898	41.8	381,390,679	4.6
収 益 化 累 計 額	△ 4,900,696,067	△ 25.3	△ 4,639,609,126	△ 23.5	△ 261,086,941	△ 5.6
負 債 合 計	15,574,249,640	80.5	16,103,839,984	81.4	△ 529,590,344	△ 3.3
資 本 金	2,950,302,080	15.2	2,818,758,417	14.3	131,543,663	4.7
固 有 資 本 金	348,498,500	1.8	348,498,500	1.8	0	0.0
繰 入 資 本 金	9,552,000	0.0	9,552,000	0.0	0	0.0
組 入 資 本 金	2,592,251,580	13.4	2,460,707,917	12.5	131,543,663	5.3
剰 余 金	822,016,213	4.3	850,905,319	4.3	△ 28,889,106	△ 3.4
資 本 剰 余 金	534,175,383	2.8	534,173,687	2.7	1,696	0.0
利 益 剰 余 金	287,840,830	1.5	316,731,632	1.6	△ 28,890,802	△ 9.1
資 本 合 計	3,772,318,293	19.5	3,669,663,736	18.6	102,654,557	2.8
負 債 資 本 合 計	19,346,567,933	100.0	19,773,503,720	100.0	△ 426,935,787	△ 2.2